

史跡小牧山整備計画基本構想の改訂について

1 基本構想改訂の経緯と目的

平成 11 年に策定した「史跡小牧山整備計画基本構想」（以下、「基本構想」という。）策定以降、この構想に基づき、これまでに小牧中学校跡地の整備、小牧市役所旧本庁舎跡地整備、ガイダンス施設（小牧山城史跡情報館[れきしるこまき]）の建設とその周辺整備を行い、現在は主郭地区の整備を進めている。また、平成 25 年には小牧山樹木整備基本計画、同 31 年には小牧山樹木整備基本設計を行うなど、樹木の維持管理についても方針を定めた。

しかし、基本構想策定後約 20 年以上経過し、構想以前に作られた施設の老朽化、整備区域の増加や山頂を中心とする主郭地区における調査の進展、新たな知見の増加などにより史跡をめぐる状況は基本構想策定時と大きく変わってきており、現行の基本構想での対応が難しくなっている。また、令和 2 年には、史跡小牧山の本質的価値を改めて明らかにし、その構成要素を確認するとともに、これからの史跡としての保存管理やその活用等についての指針を定めた「史跡小牧山保存活用計画」（以下、「保存活用計画」という。）を策定した。

保存活用計画等との整合性を図りつつ、これからの史跡小牧山の整備の方向性を定める新たな基本構想を策定するため、基本構想の改訂を行う。

2 改訂基本構想の構成の検討

（主な検討事項）

- ・ 関連計画の再整理
- ・ 整備エリアと方針の整理
- ・ 主郭地区整備以降の整備スケジュール再編
- ・ 樹木整備計画の内包
- ・ 整備後の活用計画